

公園の森で遊んじやう

子育て ネット 小学生が父親と一緒に

パパとキッズの森あそびクラブ（NPO法人）いわて子育てネット主催）は13日、盛岡市内丸の盛岡城跡公園で開かれた。1歳から小学生までの親子24組75

人が参加。森林インストラクターの川村晃寛さんを講師に迎え、自然の遊具で伸び伸びと体を動かした。

ササやクズの葉は楽器、フキの葉はひしゃくのようなコップに変身。子どもたちはフキのコップを手に水場に

詰め掛け、「おいしい」「や「もつともつ」と何度も水を味わった。佐々木理子さん（城南小1年）は「木のブランコが楽しかった。真ん中に座ることがこつ。フキのコップはふかふかしていて、水の味はちよつと違った、

父の大介さん（38）は「普段なかなかできない経験を身近な場所ですべて良かった」と話した。川村さんは「フキのコップは実用的なもので、私たちが山に行く时使用。岩手にいるので、もつと自然に親し

んでほしい。遊びだけでなく、山の生活に少しでも触れることで、生きる力が身に付き、たくましくなれる」と心の育ちを期待した。いわて子育てネットでは、同クラブ会員を募集中。次回の活動は9月14日の予定。

シダレカツラなど園内の樹木には約10メートルの高さからロープを掛けて、木の板を設置。あつという間にブランコが完成し、子どもたちは「アルプスの少女ハイジ」のように風を感じていた。



ササの葉の苗に挑戦する参加者